

京都大学理学部・理学研究科数学教室同窓会 2023年度第1回役員会議事録

出席者：井川満，重川一郎，吉田敬之，池田保，木坂正史，吉川謙一，菊地克彦，岸本展，田中紀子

1. 報告

2022年度は役員会が開催されなかった。役員会開催に先立ち，井川満会長より2022年度の役員会の招集を行わなかったことに対するお詫びがあった。

2021年度および2022年度活動報告

(1) 2021年度(2021年6月1日～2022年5月31日)活動報告

- (a) 2021年8月25日に同窓会誌5号を出版し，当会が把握している会員に送付した。
- (b) コロナ禍が収束しなかったため，総会行事は行わなかった。
- (c) 2021年度の京都大学全体の学位記授与式は，学部卒業生を対象とするもの，および修士課程修了者を対象とするものともに2022年3月24日に岡崎の“みやこめっせ”で開催された。前川専攻長の指揮の下，数学教室主催の学位記授与式が理学部数理科学系卒業者に対しては13時30分から，理学研究科数学・数理解析専攻数学系修士課程修了者に対しては16時30分から，ともに理学研究科セミナーハウスで挙行された。同窓会からは会長が祝辞を述べるとともに，同窓会からのお土産を手渡し，卒業，修了後の連絡先の記入を願った。

(2) 2021年度会計報告

2022年6月20日に，吉川謙一経理担当常任幹事により作成された2021年度会計報告を，稲生啓行，および徳田裕也両監査役が監査した。両監査役によって会計は適切に管理されていることが認められた。

(3) 2022年度(2022年6月1日～2023年5月31日)活動報告

- (a) 2022年8月25日に同窓会誌6号を出版し，当会が把握している会員に送付した。
- (b) コロナ禍が収束しなかったため，総会行事は行わなかった。
- (c) 2022年度の京都大学全体の学位記授与式は，学部卒業生を対象とするもの，および修士課程修了者を対象とするものともに2023年3月24日に岡崎の“みやこめっせ”で開催された。前川専攻長の指揮の下，数学教室主催の学位記授与式が理学部数理科学系卒業者に対しては13時30分から，理学研究科数学・数理解析専攻数学系修士課程修了者に対しては16時30分から，ともに理学研究科セミナーハウスで挙行された。同窓会からは会長が祝辞を述べるとともに，同窓会からのお土産を手渡し，卒業，修了後の連絡先の記入を願った。卒業，修了後の連絡先の記入については，吉川常任幹事

が作成した Google Form から入力できるようにした。授与式にて撮影された写真は、ファイルとしてメールで送付した。

(4) 2022 年度会計報告

2023 年 7 月 4 日に、吉川謙一経理担当常任幹事により作成された 2022 年度会計報告を、稲生啓行、および徳田裕也両監査役が監査した。両監査役によって会計は適切に管理されていることが認められた。

2. 議事

(1) 2021 年度、2022 年度の活動報告が承認された。

(2) 2021 年度、2022 年度の会計報告、監査報告が承認された。

(3) 2023 年度総会行事

2023 年 10 月 28 日に開催の予定。

講演会の講師は富永星氏 (翻訳家)。

なお講演会に関して 2020 年度に、石川博氏 (早稲田大学) に、コロナ禍で総会行事が開催できない可能性があること、およびコロナ禍収束後に講演してもらうことのお含みのうえで、講演の承諾をいただいていた。今回講演会を計画するに先立ち石川氏にご意向を伺ったところ、ご家庭の事情により正式にお断りの連絡をいただいた。

懇親会会場は北部生協 2 階。

(4) 愛称募集

愛称募集は、2019 年度の総会で 2020 年 7 月 31 日まで延長することが認められ、その結論を 2020 年度に出すことになっていた。しかし、2020 年度は対面での役員会、および総会が開催できず、2021 年度も総会が開催できなかった。この課題の性質上、慎重な議論を要することであるので、結論は通常の形の総会が開けるまで先送りすることになっていた。その後、幾つかの応募があったが、愛称案全体として大きな進展はなく、愛称選定を見送ることを役員会として承認した。応募者に対しては、井川満会長よりお詫びの手紙を送付する。

(5) 同窓会誌

同窓会誌 7 号は通常通り発行・配布する。

(6) 学位記授与式

京都大学全体の 2023 年度の学位記授与式は、コロナ感染状況に大きな変化がなければ、学位記授与式は実行できそうである。開催される場合は、同窓会はその開催に協力し、祝辞を述べるとともに記念品を渡す予定である。

(7) 会計の余裕分について

2022 年度の決算報告にあるように、2023 年度への繰越が 428 万円ある。この余裕分の、同窓会の存在意義に沿った活用法を今後検討する。

(8) 2024 年度、および 2025 年度の役員人事

井川満会長より、2023 年度終了時に退任の意向が伝えられた。

2024 年度からは、副会長 2 人体制をとることを総会に諮ることが承認された。